

令和6年度事業報告

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

特定非営利活動法人

鳥取県障がい者就労事業振興センター

1. 理事会・総会の開催

①総会の開催

定期総会：令和6年5月30日 開催 会員数97（出席20、委任状56、回答なし21）

②理事会の開催

第1回：令和6年5月24日開催（総会議案承認等）

第2回：令和6年5月30日開催（役員改選）

第3回：令和6年11月11日開催（令和6年度事業進捗状況等）

第4回：令和7年3月21日開催（令和7年度事業計画、活動予算等）

③会員数（令和7年3月31日現在）

令和6年度会員数：97カ所（廃業・閉鎖3件、新規加入3件）

2. 事業の実施状況

(1) 自主事業

①特別講演会の実施（公益事業）

・実践報告

テーマ「内職仕事でも高工賃、賃金を！」～葉の思い「障がい者」はかわいそうじゃない～

報告者 NPO法人葉（しおり） 蔵座弘志氏

・開催時期：令和6年5月30日 *総会に合わせて実施 参加人数 計42名



②共同企画による販売・受注の実施（収益事業）

・よりよい暮らしのために2025の発行（企画制作委員会を構成し発行）

発売時期：令和6年12月10日 発行部数：5700部

・共同企画による販売会等の実施

企画販売会の企画と実施

企業向け販売・・・7回実施（延べ63事業所）

鳥取県庁地下売店販売（1～2事業所の参加/月）

毎月実施（延べ17事業所）



③情報交換及び、情報収集と発信（公益事業）

- ・会員限定メールを毎月18日にセミナーやイベント、助成金等の情報を配信した。
- ・ホームページ、SNSを活用した事業所情報発信
SNS（Instagram）によるイベント開催案内等（随時）
- ・会員事業所情報発信の実施
会員事業所同士のSNS（Instagram）を通し情報発信にもなっている。
- ・障がい者就労支援関係団体の連絡会等への参加及び情報共有
日本セルフセンター研修会参加
- ・県内事業所の現状と傾向、今後求められる事業傾向等分析
- ・各都道府県振興センター等ネットワーク協議会
他県の事業内容や現状、今後の振興センターの在り方等の検討会
（8月28日、11月13日オンライン）
厚労省と意見交換会実施（8月28日オンライン）
農水省と意見交換会実施（1月10日）

④その他

- ・とっとりSDGsネットワーク会議（7月16日）
- ・鳥取市地域自立支援協議会就労支援部全体会（講師）：（8月27日）
- ・鳥取県西部障害者自立支援協議会福祉就労部会（講師）：（10月4日）
- ・鳥取県障がい福祉サービス事業所新商品開発支援事業（審査員）：（6月24日）
- ・鳥取県障がい福祉サービス事業所農業分野等チャレンジ支援事業（審査員）：（6月24日）

（2）鳥取県委託事業：障がい者の働き・自立のための工賃向上事業（鳥取県委託事業）

①総合相談窓口機能の充実、事業所情報収集

i 相談件数 合計200件（事業所等160件、その他40件）

<主な相談内容>

- ・新規事業所開設について・施設外就労について・事業譲渡について
- ・事業の休止・廃止について（取引先等との継続について）
- ・助成金申請及び採択後のフォローアップ
- ・各種助成金情報等の収集及び提供ほか

ii 情報収集：事業所調査票を作成し、全事業所に送付（A型37か所、B型148か所）。

<調査内容>

- ・基本情報（事業形態、職員数、加算状況等）
- ・利用者情報（契約者数、利用者数、賃金工賃額等）
- ・就労支援事業（事業種、自主製品販路等）
- ・課題（運営、生産活動の課題）

<調査票回収状況>

3 月末 回収率はA型 68.2%、B型 84.2%

②共同受注窓口機能の強化

i 合計新規件数：企業 35 件・行政 26 件

<主な相談内容>

- ・ 県ねんりんピック記念品。7 事業所計 1 万個契約。
- ・ 米子市ねんりんピック記念品。1 事業所計 2700 個契約。
- ・ 「ねんりんピックはばたけ鳥取 2024」開催中、総合閉会式会場での案内や取りまとめ。
- ・ 作業依頼（加工事業、封入作業）・イベント景品、商品依頼
- ・ 作業依頼（施設外就労）除草・清掃作業等

ii 受注促進、連絡調整及び事業所支援

<主な調整案件と支援状況>

- ・ 清掃作業（年間継続）・環境整備・除草作業（単発含む）
- ・ 商品取引・イベント出店・景品及び参加賞商品斡旋ほか
 - ➡事業所紹介、作業現場同行、作業内容確認・調整、見積書作成、契約書作成支援
 - 商品アピール内容、写真撮影等サポート、商談シート作成支援、受注後の発送調整

iii 事業所商品、サービス情報収集

- ・ 事業所商品調査：販路先に合わせ、都度商品情報を収集。

iv 事業所共同販売の企画及び実施に向けた支援

- ・ イベント等出店支援（手話パフォーマンス甲子園、あいサポート・アート祭り）
（合計延べ 19 事業所）
- ・ チラシ販売（民間企業 2 社）（合計延べ 120 事業所）
- ・ 販売出店に向けて、出店調整、自主製品の製造工程見学や出店に向けた試作づくり
出店商品についての相談等に伴う訪問を行った。訪問事業所：5 事業所

v 企業、関係団体・機関等とのネットワークの構築

- ・ 県外企業との価格設定や納品等の対応。
- ・ 鳥取県労働者福祉協議会西部支部のクリスマス商品（食品）について。
- ・ 第 39 回中四国精神保健福祉士大会での出店について案内、調整を行った。

③事業所の実情、課題等に合わせた支援の実施

i 共通の支援

- ・ 中長期事業計画作成等の支援
事業所の課題や目標に向けて支援を実施。集中して関わる重点事業所に対しセンター
スタッフ及び関係機関と連携してサポートを実施。
- ・ 工賃向上計画における取組の点検・評価・計画見直し等サポート
「人づくり研修」管理者編とリンクし実施。
- ・ 事業所の事業展開に沿った各種助成金等の情報提供、申請支援等
令和 6 年度赤い羽根パートナーと創る新たな助成事業
9 事業所が申請、助成に繋がった。
- ・ 新規事業所訪問
4 月シェルティ、はっぴーだいせん、就労継続支援 A 型ころみ
5 月さかくろコミュニティ、8 月おあしす 11 月 smileheart
1 月就労継続支援 B 型事業所 紡ぎ、就労継続支援事業所 光 8 事業所の訪問を行った。

ii 商品・サービス向上支援

- ・ 自主商品、サービス情報の収集とデータ化を行った。
- ・ 事業所調査表や訪問時等通じ、随時更新等行った。
- ・ 商品力向上ワークショップ実施

研修名：商品力向上セミナー

開催日時：令和6年8月7日（水）AM

講師：良品工房 代表 白田典子氏

参加者数：7事業所9名参加

- ・ ブラッシュアップ商談会実施

研修名：ブラッシュアップ商談会

開催日時：令和6年8月7日（水）PM

講師：良品工房 代表 白田典子氏

参加者数：7事業所10名参加

- ・ 既存商談会等への参加支援

各商談会等、案内の送付を行った。

iii 施設外就労・受託作業組替等の促進

- ・ 品質管理、衛生管理等受託作業のための環境づくり支援
作業を受託出来るような環境づくりについて支援を行った。
- ・ 共同作業場、企業等施設外就労促進のための体制づくり支援
新規作業斡旋のため事業所の作業整理、企業同行
現取引状況と引き続き確認を行う・取引先との調整と必要な時はアドバイスを実施、
施設外就労場所縮小への調整。
企業から作業継続の要請があり事業所との調整を行った。
- ・ 作業単価の見直し等、収益力向上のための支援
企業との直取引契約に向けての体制づくり及び直取引による作業単価交渉等
サポートを実施。
施設外就労の作業代金改定支援を行った。

④ 専門家派遣による支援

振興センターコーディネーター支援では対応できない相談に対し専門家を派遣し、より効果的な支援を実施する。（賃金・工賃向上に向けた取組、経営改善に向けた取組等への支援）

6事業所への専門家派遣を行った。

【M事業所】・・・ 経理体制の改善就労支援事業の課題整理

【N事業所】・・・ カフェオープンに向けてブランディング・集客

【P事業所】・・・ パン事業運営の基本について

【H事業所】・・・ 法人としての方向性整理

【F事業所】・・・ 新店舗オープン後の持続的な集客

【W事業所】・・・ 今後のパン事業安定経営を実現するには

⑤ 就労支援における「人づくり」プログラムの実施

経験年数や職位等に合わせた人材育成研修を実施し、福祉とビジネス双方の視点やスキルを

持った就労支援の「人づくり」を行う。

- ・基礎編 研修内容「就労支援事業とは」、「ビジネスコミュニケーション力について」
令和6年5月28日開催 10事業所 参加者15名（東部地区）
令和6年5月29日開催 12事業所 参加者16名（西部地区）
- ・中級編 研修内容「人が働くということ」作業分析・作業指導について学ぶ
令和6年12月9日開催 12事業所 参加者16名（東部地区）
令和6年12月10日開催 13事業所 参加者28名（西部地区）
- ・管理者編 研修内容「マネジメントゲームから経営を学ぶ」、「工賃向上計画作成」
令和6年6月14日、15日開催 11事業所 参加者12名
令和6年7月19日、20日開催 12事業所 参加者13名
令和6年8月30日、31日開催 9事業所 参加者10名
令和6年10月10日開催 9事業所 参加者9名
令和6年11月19日開催 8事業所 参加者9名



⑥事業所等ネットワークの構築、全国の事業所支援機関との連携

ア：新たな高単価作業のための事業所等ネットワークの構築

- ・他県で先進的に取り組まれている高単価作業等への参入を模索するため、山口県で工業用ウエスの作業を行っている事業所職員による説明会の実施。視察後、検討会を開催した。
- ・データ入力作業については、協力企業側の都合で延期となっている。



イ：全国の事業所支援機関との連携

- ・都道府県振興センターネットワークでの情報交換会や共同研修会の企画・検討を行った。

⑦振興センター職員の支援力向上のための人材育成

- ・外部講師による学習会や全国の工賃向上好事例等の視察、研修等参加。

(3) 地域づくり農福連携モデル事業（鳥取県委託事業）

①地域づくり農福連携モデル事業の実施

地域資源（ヒト・モノ）を活かした地場産業の活性化、新しい商品や事業（作業）の創出など、農福連携等を通じた地域の活性化・課題解決等を図り、障がい者が安定的、継続的に関われる仕事を創出する仕組みを構築する「地域づくり農福連携モデル事業」を実施する。このため、コーディネーターや専門家の派遣等により、事業所の6次産業化に向けた取組等の支援を行う。これまで進めてきたモデル事業を具体的に実践し、ケース事例に高めるとともに、新たなモデル事業を創っていく。モデル事業は、地域ネットワーク、マルシェと連動させてプロジェクト化し、地域に根差した持続可能な取組となるよう一体的に支援していく。

ア：事業所へのコーディネーターによる支援

- 事業所に対し、農福連携に関する全般的な相談対応
- 個々の事業所に合わせそれぞれの課題に沿った伴走型支援
- 第1回農福連携コンテスト参加事業所フォローアップ
- 第2回農福連携コンテスト参加に向けたサポート及び参加後のフォローアップ
- 助成金情報等の提供および申請に向けてのサポート
- 地域協議会についての意見交換
- 事業所と専門家及び関係機関との調整
- マルシェ参加に向けてのアプローチ、サポート。実施後のフォローアップ
- ・専門家派遣による支援 7事業所
 - 【I事業所】・・・コトづくり農援団プロジェクト今後の展開について
 - 【U事業所】・・・耕作放棄地（UBUMIBASE）の今後の活用について
 - 【T事業所】・・・田畑（借地）の有効活用について
 - 【K事業所】・・・新規事業について（いちご観光農園事業予定）
 - 【H事業所】・・・地域連携の進め方について
 - 【S事業所】・・・野菜や花の苗の栽培方法について
 - 【M事業所】・・・いちじくの栽培方法の技術指導と6次化商品の技術指導

イ：農福連携の意識啓発・情報発信及び地域ネットワーク

① 農福連携地域ネットワーク会議の開催

- 農福連携地域ネットワーク会議（情報交換会）への参加
- 地域協議会の設立及び体制整備について意見交換会
- 日時：令和6年12月10日
- ・農福連携地域協議会について意見交換会の参加
- 日時：令和7年1月10日
- ・地域協議会の設立及び体制整備について意見交換会（2回目）
- 日時：令和7年3月4日（オンライン）
- ・鳥取県農福連携PT会議への参加
 - <東部地区>
 - 日時：令和6年5月13日、9月11日、令和7年1月23日、3月27日
 - 内容：マッチング状況の確認、情報交換等
 - <中部地区>（全2回）
 - 日時：令和6年6月18日、11月27日
 - 内容：マッチング状況の確認、情報交換等
 - <西部地区>
 - 日時：令和6年11月11日
 - 内容：マッチング状況の確認、情報交換等

②農福連携の意識啓発・情報発信

- ・「とっとり農福連携シンポジウム」の開催
 - *とっとり農福連携コンテスト日程に合わせて開催
 - 日時：令和6年11月29日（金）13：30～15：30
 - 会場：とりぎん文化会館
 - 内容：1)全国の活動紹介

2) パネルディスカッション

テーマ：農福連携の広がり～人と人をつなぎ地域をつくる“それぞれ”の取組～

参加者：計 70 名



- ・とっとり農福連携シンポジウム パート 2 の開催

日時：令和 7 年 2 月 17 日

会場及び内容

1 部：いちごの広場視察 2 部：意見交換会 参加者：計 17 名



- ウ：農福連携コンテストの開催

第 2 回農福連携コンテストの開催

開催日：令和 6 年 11 月 29 (金)【ノウフクの日】会場：とりぎん文化会館 (鳥取市)

- ① 審査会 10:00~12:00 モデル事業の横展開を目的に有識者を審査員として開催
エントリー事業所によるプレゼンテーション、審査員の質疑応答

エントリー事業所 5 か所

- ・ウイズユー千代工場下段グリーンファーム・船岡作業所
- ・まつぼっくり事業所・San-Fuku・ぱにーに花見事業所

審査方法 6 項目の視点で点数化。

合計最高点数事業所グランプリ、各分野における奨励賞



- ② 結果発表、表彰式 13:00~13:15

グランプリ賞：ぱにーに花見事業所



奨励賞：その他 4 事業所

<開催前後のフォローアップ>コンテスト広報、集客として

- ・ 記者クラブ広報
- ・ ラジオ出演（ノウフクウィークに合わせて実施）FM鳥取「RADIO BIRD」10 事業所出演
- ・ HP 掲載（鳥取県、中四国農政局、ノウフク WEB、振興センター）を行った。

②マルシェの開催及び出展支援

事業所で栽培された農産物や農産加工品等を販売するマルシェを開催した。事業所だけでなく、農家や加工事業者等と連携したマルシェを開催することにより、新たな連携商品の開発や共同事業の実施などのマッチングの場とする。マルシェは、地域ネットワークの取組などと連動して開催し、マルシェを地域に定着させ、農福連携による工賃向上のきっかけを生み出していく。また、県内外で開催されるマルシェへの出展支援を行い、事業所の販路拡大、商品力アップ等を目指した。

ア：マルシェの開催

- ・ 県内各圏域、全 6 回地域イベントと連携したマルシェの実施



イ：県内外で開催されるマルシェへの出展支援

- ・ 県内で開催されるマルシェに参加する事業所支援を行った。
- ・ 県外で行われるマルシェへの出展支援は、ねんりんピック等あり出来なかった。

(4) とっとりモデルの共同受注体制構築事業(鳥取県委託事業)

①共同作業場の運営管理、衛生管理及び作業環境と安全管理の徹底

- ・ 帳票等整備及び運用
- ・ 環境整備、安全管理、衛生管理
- 防虫管理、安全で整理された搬入出口や駐車場管理、バックヤード内含む

②共同作業場参加体制の確立と受託製品の品質管理の徹底

- ・ 作業参加事業所の調整
- 作業参加事業所 6 事業所、延べ参加人数 28 名。
- ・ 生産管理調整及びマニュアル等の整備と運用
- 仕様書の作成と説明、理解。工程管理を事業所と一緒にを行った。



③外注事業所との調整及び管理

- ・生産管理調整を行った。
- ・事業所作業からワークコーポ参加への移行支援
- ・事業所納品製品の品質管理の徹底

④企業との調整

- ・HP を活用し新規作業の獲得。
- ・年間を通して品質担保と作業の信頼を獲得できるよう納期管理を行いながら受注数の拡大に向け調整を行った。
- ・既存取引企業の閑散期により、受注数量が減産にならないよう、新規作業を積極的に獲得できるよう調整を行い、生産管理及び品質担保出来るようにした。
- ・企業より再度作業依頼があり、海外販売に向けた量産化を検討している為事業所を再度紹介してほしいとの相談があった。